

三心を磨く

学校だより NO. 44
平成30年11月16日(金)発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇本年度の「コスモス街道」の活動終了！

～四半世紀の取り組みから～

11月13日(火)の「コスモス街道片付け」をもって、今年度のコスモス街道での活動のすべてが終わりました。保護者の皆様には、「PTA ボランティア活動(コスモス街道作業)」として、多大なるご協力をいただきました。今年度も事故なく無事に全活動が終わり、職員一同一安心しています。

さて、今年度の「コスモス街道活動」をふり返ってみると、まずは、5月14日に行われたサルビアの「ポットあげ」です。



職員や美化委員会が育てたサルビアの苗を、1本1本ポットに植え替え、定植にむけての苗づくりをしました。今年も本校の初代緑化委員長森山さん、苗作りや水やりでお世話になっている田辺さんにご指導いただきました。6月13日(木)は、コスモス街道での「定植」、自分たちで育てたサルビアと平和のシンボル「カンナ」を植えました。それから、生徒たちや職員による水やり、草取りです。

今年度は、草の生育を抑えるため、広げないために「チップ」を購入し、PTAの皆様のご協力もいただきながら畝に蒔きました。結果としては、例年より雑草の生長や繁殖を抑えることができたように思います。ですが、

やはり草の生命力は強く、PTAの皆様のご協力と7月12日(木)のコスモス街道除草作業などで、花壇を整備し、花々の成長を見守りました。例年行っていた「夏休みの水やり」は、酷暑による生徒たちの熱中症や交通安全面を考慮して取りやめとし、職員が行いました。

そして秋、「美しいサルビア」と「荘厳なカンナ」が、今年もコスモス街道を飾りました。東中が担当する500m余りのコスモス街道には、写真のような世界が広がり、歩行者や運転者の皆様の目を楽しませたり、癒やしたりやさしい気持ちにすることができました。



11月13日(火)、花壇の片付けをしました。朝夕の寒さからかサルビアやカンナの花や葉には勢いがなくなりましたが、若干ですが元気な花もみられ、「まだ元気な花もあるね」「ちよつともったいないなあ」といった生徒たちの声も聞かれました。

1時間ほどの活動で、サルビアの花や枝・葉を片付け、カンナの球根を回収、整地まで完了しました。

また今年度は、「須坂市花のまちコンクール」において「奨励賞」をいただきました。そして先日、生徒会美化委員会の正副委員長





の2名が授賞式に出席しました。生徒たちの地道な活動の姿が評価されたこと、とてもうれしく思います。

「ドライバーのゴミの投げ捨てや投棄、吸い殻の投げ捨てなどをなくそう!」「あのゴミをなんとかしたい」「東中生としてできることは何か?」などと考え、強い思いで始まったコスモス街道でのこの活動は、今年でちょうど「25年目」となります。

その間、街道を飾る花が「コスモス」から「サルビア」に変わり、最近では新たに「平和の象徴」である「カンナ」が加わったりと形は少しずつ変わりましたが、生徒たちの願いや思いはつながって



【コスモス街道に咲くサルビアとカンナ】

きています。懸案だったゴミの問題も、まだまだ「0」とは言えませんが、大幅に改善がすすみ、ほとんどみられなくなるという「一定の成果」が確認されました。先輩たちから引き継がれてきたこうした取り組みが、今の東中学校の伝統や誇りとなっています。

そうした中で、近年の「異常気象」による酷暑や雨水による鮎川の急激な水位変動、交通事情の変化による大型車の増加など、生徒をとり巻く環境の変化が激しいこと、生徒たちの多忙感や日々の水やりに伴う安全を危惧する保護者の皆様のお声などもあります。

コスモス街道での活動 25 年目を終える中、皆様のお声やお考えを伺いながら、次の動きに生かしてまいります。12 月に実施する「保護者アンケート」などでご意見などお聞かせください。

◇来年度の生徒会役員選挙始まる! ~引継ぎの季節となりました~◇



3年生の生徒会役員が中心となり大成功に終わった東祭から1ヶ月余り、校内には「選挙ポスター」が各所に掲示されました。

そして、各候補者の選挙公報(マニフェスト)も全校生徒へ配布され、教室訪問も始まりました。3年生からの生徒会の引継ぎが、いよいよ動き出しました。

今回の選挙では、会長1名、副会長が男女各1名選出され、この3名が本校の顔となります。2年生の1組・2組、それぞれのクラスから候補者が選出されていることから、各クラスが母体となり、言わば「政党政治」にも似た構図で選挙戦がくり広げられています。

生徒会活動は、言わば「民主主義の学校」的な要素があり、この経験が社会に出て生かされることとなります。先の選挙法改正で、18歳以上が投票権をもち、生徒たちも早ければ高校3年生より自分の意思を政治に反映させる権利を得ています。よってこの機会も、大切な学びの場となっています。

そんな中、自分のクラスの仲間たちを当選させようと、責任者や協力者の動きも活発です。

それぞれの選挙公約を見ると、「3年生が残してくれた伝統を引き継ぐ」「縦割りチームの活動を引継ぎ、つなぎ、発展させたい」「あいさつの更なる充実」などが公約されています。

「公約は必ず守らなければならないもの」「マニフェストは大切」など、大人も学ばなければならない姿を感じます。学んでいる生徒たちです。

どの候補者が選ばれても、今の東中の伝統を守り、つなぎ、進化させてくれる予感がします。頼もしい2年生たちです。26日(月)に立ち会い演説会と投票が行われます。